

石綿健康被害の救済に関する取組

令和8年1月26日

環境省大臣官房環境保健部
石綿健康被害対策室

石綿健康被害の救済に関する取組(概要)

石綿関連疾患(中皮腫・肺がんなど)を発症した者

労災の対象とならない者
労働者の家族
工場周辺の住民 など

仕事で石綿(建材・断熱材など)
を取り扱った労働者

労災保険制度
(厚生労働省)

石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく救済制度(施行の状況)

(独)環境再生保全機構

石綿健康被害救済事業

救済給付にかかる事務
申請の受付、認定、給付など

医学的判定
の申出

判定結果
の通知

環境省

石綿健康被害対策

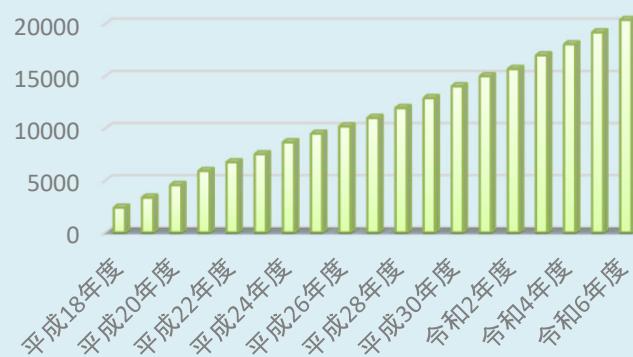
医学的判定にかかる事務
石綿健康被害判定小委員会開催など

～適切かつ効率的な医学的判定を推進するための事業～

石綿健康被害に関する知見収集や医療従事者育成など

- ・ 海外動向調査事業
- ・ 石綿読影の精度確保等調査事業
- ・ 医学的所見の解析調査・診断支援事業
- ・ 中皮腫登録事業
- ・ 石綿纖維計測体制整備事業

認定件数(累計)



石綿健康被害判定小委員会の開催状況等について

1. 石綿健康被害判定小委員会及び審査検討会等の開催状況 (R7.12月末時点)

(1)判定小委員会

全254回開催 (第1回：平成18年4月11日)

(2)中皮腫・肺がん審査検討会

※ 審査分科会

全99回開催 (第1回：令和5年4月17日)

全446回開催 (平成18年5月16日～令和5年3月29日)

(3)石綿肺等審査検討会

※ 石綿肺等審査分科会

全33回開催 (第1回：令和5年4月11日)

全137回開催 (平成22年9月16日～令和5年3月7日)

2. 令和6年度における医学的判定の状況等 (単位：件)

(1) 認定疾病と判定するもの

項目	令和6年度判定件数					判定件数累計 (H18.4～R7.3)
	中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性胸膜肥厚	合計	
療養者	737	149	0	13	899	14,234
施行前死亡者	0	0	0	0	0	165
未申請死亡者	208	47	0	3	258	2,408
計	945	196	0	16	1157	16,807

(2)認定疾病でないと判定するもの

項目	令和6年度判定件数					判定件数累計 (H18.4～R7.3)
	中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性胸膜肥厚	合計	
療養者	30	85	43	62	220	3,004
施行前死亡者	0	1	0	0	1	428
未申請死亡者	58	42	13	10	123	1,043
計	88	128	56	72	344	4,475

※判定小委員会にて判定した件数であり、(独)環境再生保全機構の受付認定状況と異なる。

石綿健康被害救済小委員会「取りまとめ」を受けた取組(1)

- 令和4～5年度に、中央環境審議会「石綿健康被害救済小委員会」において、石綿健康被害救済制度の施行状況を審議。令和5年6月に施行状況を踏まえた論点及び今後の方向性を取りまとめ。
- 現在、同取りまとめの内容に沿って各種取組を実施中。

取りまとめにおける「今後の方向性」	取組状況
<p>【制度運用】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 救済制度について様々な機会を捉え更なる周知。・ 医療機関において石綿による肺がんを正しく診断するため、肺がんの臨床診断及び病理診断における留意点についても医療関係者に対し周知。・ がん患者のピアサポート促進のため、がん相談支援センターの更なる周知方法を検討。・ オンライン化の検討も含め申請手続の簡素化により申請者の負担軽減。	<ul style="list-style-type: none">・ 救済制度の周知について、環境再生保全機構と連携し、広報を実施（令和5、6年度はテレビCM（計1,848件）、新聞・雑誌（計14件）等）。また、指定疾病に関する医療機関向けの講習会を実施。令和7年度の周知には症状の検索歴のある方、中高齢者等に向けたターゲティング技術も活用。・ 医療機関向けに石綿による肺がんの認定基準に係る症例画像を解説付きで提供するデータベースを活用。また、石綿による肺がんについて周知するため、環境再生保全機構等と連携し、医療機関（令和6年度：2,171箇所）、日本肺癌学会や日本呼吸器内視鏡学会などの関係学会に対してチラシ配布等による周知を実施。・ 令和6年4月から、がん相談支援センター・がん情報サービスについて案内するチラシを救済制度の被認定者に配付。・ 令和8年3月末からオンラインでの申請受付を開始予定。また、令和9年度からの石綿健康被害医療手帳とマイナンバーカードとの連携に向けた準備を実施中。

石綿健康被害救済小委員会「取りまとめ」を受けた取組(2)

取りまとめにおける「今後の方向性」	取組状況
<p>【健康管理】</p> <ul style="list-style-type: none">実施中の「石綿読影の精度確保等調査」の対象地域を拡大しつつ、石綿読影の精度確保等に関する検討会において健康管理の在り方について引き続き検討。	<ul style="list-style-type: none">令和2～6年度の「石綿読影の精度確保等調査」の結果を踏まえ、令和7年3月の検討会において、当面の間は調査を継続することについてとりまとめ。調査参加促進のため、全国自治体説明会(令和6年度:61自治体参加)を開催して周知を実施。令和7年度は同取りまとめを踏まえて、引き続き調査を継続。読影体制の整備や読影所見のフィードバックの充実化等、更なる読影精度の向上に向けた方策を実施。
<p>【調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none">救済制度は安定的に運用される必要があることから引き続き基金の収支を注視しつつ適切な一般拠出金率に基づく運用を実施。環境省は、診断研究の支援の更なる推進に努め、関係省庁が小委員会において指摘された意見を考慮するよう情報提供を通じて強く働きかけ。中皮腫の診断技術の向上等に資するよう、他のデータベースとの連結による中皮腫登録の更なる充実について検討。	<ul style="list-style-type: none">石綿健康被害救済基金の収支を基金シート等により確認し、適切に運用を実施。医学的所見の解析調査・診断支援等事業において、診断研究の更なる推進を実施。また、厚生労働省が所掌する研究費補助金事業による中皮腫に係る治療研究についても、厚生労働省や研究者との情報連携を行っている。令和6、7年度に中皮腫登録に関する検討会を開催し、蓄積情報の追加や情報提供の強化など、今後の中皮腫登録の更なる充実可能性と限界について検討を実施。